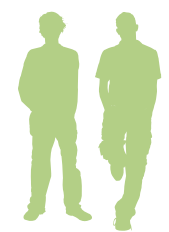


II 農林水産業で 食べてみませんか



1 地域と連携した地産地消の推進

現状と課題

どの国も存続し続けるためには農林水産業の振興が必須条件です。必要な保護政策は勇気を持って進めるべきです。

本県の食料自給率は16%。多彩な地産地消を進めて、足腰の強い基幹産業として、今こそ育てなければなりません。

政策と実績等

- ひょうご農商工連携ファンドの創設 ▶▶▶ H23年3月設立

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
採択件数	9件	10件	9件	12件

- 民間との連携による農産加工場の経営支援体制を整備
- お米を原材料とする製品開発 (米粉パン、麺、家畜飼料、工業製品化)

- 兵庫県認証食品流通割合 200%を5年で達成
- ファーマーズマーケット (直売所) の設置促進による参加農家の拡大
▶▶▶ 目標達成

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
参加農家数	22,642戸	23,154戸	24,157戸	24,101戸
利用客数	1,944万7千人	2,009万1千人	2,172万5千人	2,347万6千人

- 学校給食に県産食材を活用、地場産利用率の向上

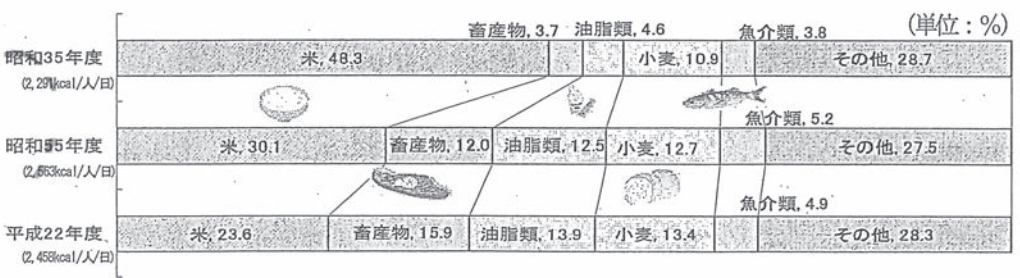
年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
使用割合	28.9%	29.3%	28.7%	34.0%

- ひょうご安心ブランドモデル産地の育成

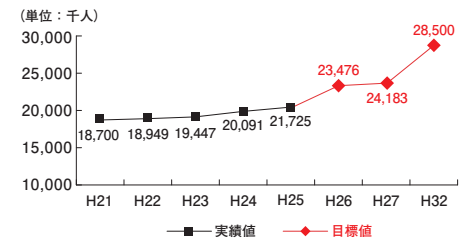
年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
生産面積	1,795ha	2,925ha	3,008ha	4,200ha

- 消費者が生産を支える仕組みを構築

● 食事と食料消費量の変化 (供給熱量の構成)

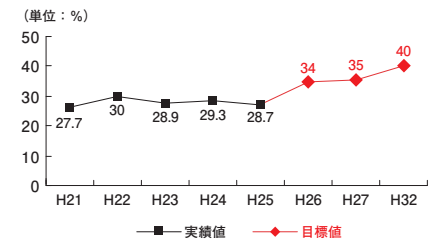


● 農産物直売所の利用者数/年



資料：県総合農政課調べ

● 学校給食での県産品使用割合 (品目数)



資料：県総合農政課調べ

2 高品質で採算性のとれる漁業の育成



現状と課題

水産資源の維持拡大と持続的利用を進めるとともに、地産販売力の強化や消費拡大対策等により、水産物の安定的な供給と漁業経営の安定に努めることが大切です。

政策と実績等

● 重要魚種の種苗生産や地域特性を生かした新たな栽培魚種の量産技術の開発

- 種苗生産による水産資源の維持増大

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
マダイ	1,128千尾	838千尾	766千尾	1,000千尾
ヒラメ	1,058千尾	802千尾	816千尾	900千尾
マコガレイ	393千尾	404千尾	350千尾	350千尾
クロアワビ	197千個	216千個	216千個	270千個

● 海底耕うん等による豊かな漁場の再生

- 藻場や浅場等の沿岸海洋環境の保全に取り組む漁業者を中心とした豊かな海創生活動の取組件数年間25件 (H24まで)

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
取組み数	28件	28件	26件	29件

● 水産業を支える漁場の整備

	事業種目	地区名	事業主体
H23実績	魚礁設置事業	並型魚礁 家島、南あわじ	市
	魚礁設置事業	大型魚礁 但馬沿岸	県
H24実績	増殖場造成事業	西播磨、播磨灘中西部加島第2、一宮、阿万、但馬沖合	県
	魚礁設置事業	並型魚礁 南あわじ	市
H25実績	魚礁設置事業	大型魚礁 東播磨、淡路東浦、福良	県
	増殖場造成事業	西播磨、播磨灘中西部加島第2、三ツ頭、一宮、阿万、但馬沖合	県
H25実績	魚礁設置事業	並型魚礁 家島、南あわじ、豊岡	市
	魚礁設置事業	大型魚礁 東播磨、淡路東浦、但馬沿岸	県
H25実績	増殖場造成事業	西播磨、播磨沖中西部加島第2、同三ツ頭島、一宮、福良、沼島、但馬沖合	県

- 第2の鹿ノ瀬構想の推進による石材礁造成

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
基数	8基	9基	12基	14基

● 総合的なノリの色落ち対策

- 下水処理場の栄養塩管理運転の拡大等による栄養塩供給促進
- 施肥(栄養の添加)の支援
- 優良品種の開発(「ひょうごはりま薫黒」の品種登録)

● ひょうごのさかな消費拡大対策の推進

- JF兵庫漁連、漁協女性部、漁協青壮年部によるお魚講習会、料理教室、親子教室などの開催を支援

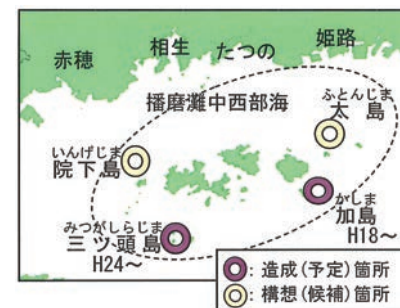
対象者	年度		H23		H24		H25		H26 (目標)	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
幼稚園、小中学生	92回	5,249人	129回	7,083人	169回	7,339人	—	—	—	—
一般消費者	331回	4,000人	267回	3,981人	201回	2,610人	—	—	—	—
いずみ会等	54回	1,357人	41回	762人	39回	885人	—	—	—	—
計	477回	10,606人	437回	11,826人	409回	10,834人	220回	—	—	—

● 漁協直営店等での産地直売、インターネット販売等新たな流通形態の構築支援

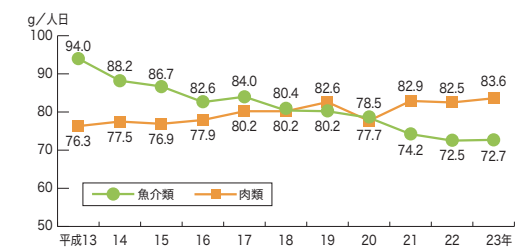
- 浜坂町漁協の生鮮ホタルイカ(浜ほたる)のブランド化や直販の取り組み等を支援
- 摂津船びき網漁業協議会(神戸市漁協)のマリン・エコラベル・ジャパンを初めとするイカナゴのPRの取り組み等を支援

● 漁業の6次産業化の推進(海の直販・食の提供事業を支援)

● 第2の鹿ノ瀬構想 実施海域



● 国民1人1日当たり魚介類と肉類の摂取量の推移



3 県産木材の使用を積極的に奨励



現状と課題

山林の荒廃が止まりません。効率的な木材生産と安定供給による循環型林業の確立が急務です。

木の良さのPR、暮らしの中での多様な木材利用、住宅への県産木材の利用拡大が急がれます。

政策と実績等

● 森林の団地化・林内路網整備の推進

- 新ひょうご林内路網 1,000km整備プランの推進

年度	既整備 (H25末見込み)	H26～33	計
アクセス道路	130	42	172
低コスト団地内	902	960	1,862
合計	1,032	1,002	2,034

(km)

● 林業者への高性能林業機械導入を促進

- 高性能林業機械整備事業

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
補助数	13台	12台	24台	16台

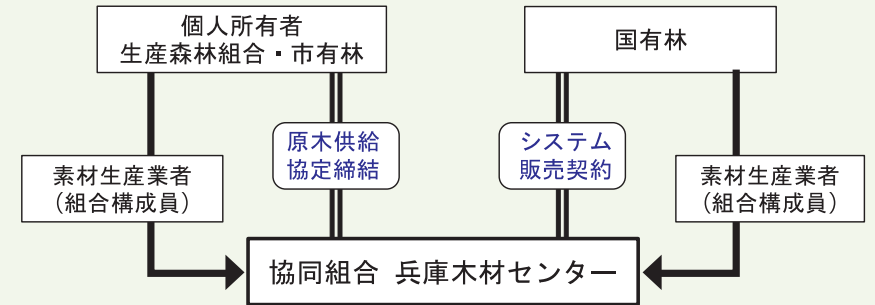
● 原木の出荷



● 兵庫木材センター等と協調した伐採・造林・保育・伐採の林業サイクルシステムの確立

- 原木の確保

原木確保のフロー図



● 原木取扱量

年度	H23	H24	H25 (4月～2月)	H26 (目標)
総取扱量	76,226㎡	95,775㎡	115,613㎡	126,000㎡
製材用	48,036㎡	57,200㎡	76,477㎡	73,000㎡
合板用	16,156㎡	27,596㎡	26,837㎡	43,000㎡
外部販売用	12,034㎡	10,979㎡	12,299㎡	10,000㎡

● 製品生産量

年度	H23	H24	H25 (4月～2月)	H26 (目標)
製材品	20,960㎡	22,417㎡	31,596㎡	32,000㎡
柱	11,427㎡	9,692㎡	16,123㎡	12,800㎡
間柱・筋違	9,533㎡	12,725㎡	15,473㎡	19,200㎡
チップ	29,543㎡	37,176㎡	48,835㎡	35,000㎡

- 県産木材利用融資制度を店舗・オフィスへ拡大
- 公的施設（学校、公共機関）での木質暖房への転換推進
- マンションのリフォームなど県産木材を活用した内装木質化の推進
- 間伐材林地残材の有効利用（燃料化、家畜敷材化、バイオエタノールなど）
- 木育サポーターの育成

4 都市（近郊）農業を振興し、 多面的多角的機能を活用



現状と課題

都市農地は、人口集中地域への安全な野菜等の供給拠点であり、温暖化防止、災害時の緊急避難など重要な機能を持っています。



政策と実績等

- 生産緑地制度の改善、農家向け事業承継制度の創設
- 体験学習の充実、宿泊等交流施設の利用促進
 - 兵庫楽農生活センターにおける農業体験、就農講座、農産加工体験など食と農に親しむ機会の提供

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
体験(入園)者数	178,158人	169,346人	163,020人	186,000人

- 都市農業の振興、都市農地の保全・活用の推進と「ひょうご農林水産ビジョン」等へ位置づけ

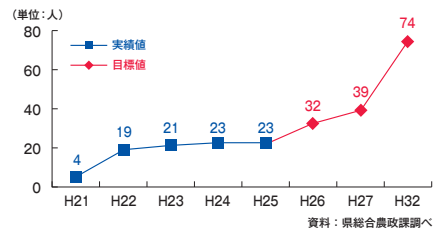
● ひょうご都市農業支援センター▶▶▶ H24.3にリニューアルオープン
センターによる支援内容

推進方策	施策項目	支援内容
技術集約型農業の展開	都市農業の担い手育成	・認定農業者制度の導入支援 ・農業大学校生等農外者のインターンシップ支援 ・農家子弟の就農支援
	都市農業の農産物生産振興	都市農業における有利販売品目の推進 ・既存特産物の生産振興 ・花き植木産業の振興
地産地消型農業の展開	地産地消の推進	地産地消連絡会の設置・運営 ・直売所における地元農産物の啓発
市民参画型農業の展開	農業体験農園の設置推進	農業体験農園開設支援 ・「ふれあい農業」を市民へ推進 ・「ひょうご市民農園整備事業」の実施支援
都市農業・農地の多面的役割の向上	都市農業の理解促進	・都市住民への「都市農業学習講座」開催支援 ・農業祭等において市民に都市農業への理解を促進

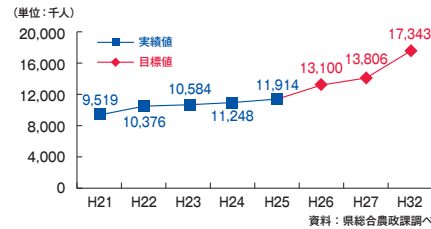
- 近年減少傾向にある阪神5市の生産緑地面積の維持

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
生産緑地面積	424.4ha	418.0ha	414.7ha	442.0ha

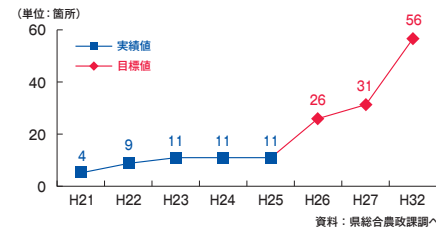
● エコファーマー認定者数 (市街化区域内)



● 市街化区域を有する市町に 設置された直売所の利用者数／年



● 農業体験農園設置数



5 農林水産業の 生産基盤整備を推進



現状と課題

食糧自給率の向上へ生産・消費両面の取り組みが必要です。農業所得の増大に向けた「儲かる農林水産業」を実現する施策を戦略的に展開しなければなりません。



政策と実績等

- 農業法人化による営農の効率化
- ひょうご農業 MBA 塾を通じたモデル経営体の育成

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
受講者数	12人	8人	9人	10人

- 集落営農、認定農業者の規模拡大

・集落営農組織の育成

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
育成数	997集落	1,023集落	1,040集落(暫定)	1,110集落

・認定農業者の育成

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
育成数	2,522経営体	2,680経営体	2,514経営体(暫定)	2,760経営体

- 企業等の農業参入の状況

《累計》

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度(目標)
参入法人数	13法人	24法人	49法人	69法人	85法人	100法人
参入面積	19.9ha	41.0ha	132.8ha	192.8ha	232.5ha	265.0ha

- 農業経営の効率化をめざす土地改良事業費を確保
- 農業の6次産業化の推進

取り組み	年度等	H23	H24	H25	H26 (目標)
六次産業化法 認定件数等		36件	61件	79件	48件
兵庫県認証食品 数(加工食品)		600食品	689食品	747食品	720食品
女性起業件数		304件	310件	284件(目標)	292件
農商工連携事例数		52事例	52事例	54事例	65事例

- ひょうごの美味し風土拡大協議会等の組織図

